

育苗までのさつまいもの病害対策について

さつまいも産地で、基腐病やつる割病による立枯症状や塊根腐敗などの被害が発生しています。

次年産での発生防止のためには、伝染源を少なくすることと健全苗の確保が大切です。次の取組を徹底しましょう。

多発ほ場では、健全苗を植え付けても発病する恐れがあるので、連作を避けましょう。



経済部
 営農販売課
 営農指導係長
森山 貴憲



写真1 基腐病の多発ほ場（本ぽ）



写真2 株元の黒変症状（本ぽ）



写真3 育苗床で発生した基腐病の症状

（左：萎凋症状 中央：矢印部が黒変 右：伏せいもの腐敗）

➤ 次年産に向け、早急に行うべき対策

- ① 病原菌は残さとともに土壌中に残るため、収穫後は直ちに耕うんし、残さの分解を促進する。
- ② 種いもは発病の無いほ場からとる。
- ③ 育苗床は、地温を確保できる時期までに必ず土壌消毒（クロールピクリン、バスアミド微粒剤）を行う（地温を15℃以上確保しないと効果が低い。また、必ずビニール等で土壌を被覆する）。
- ④ 種いも定植前には、腐敗や変色のあるいもは除外する。
- ⑤ 種いも定植前に、種いも消毒を行う（黒斑病登録：トップジンM水和剤の200～500倍液に、20～30分間種いも浸漬処理する）。



双子座
5/21
～6/21

【全体運】 周りの意見に振り回されやすいとき。自分の経験値を信じて選択を。セールでは掘り出し物をゲット
 【健康運】 疲労をため込む傾向が大。笑いで発散を
 【幸運を呼ぶ食べ物】 ナガイモ